

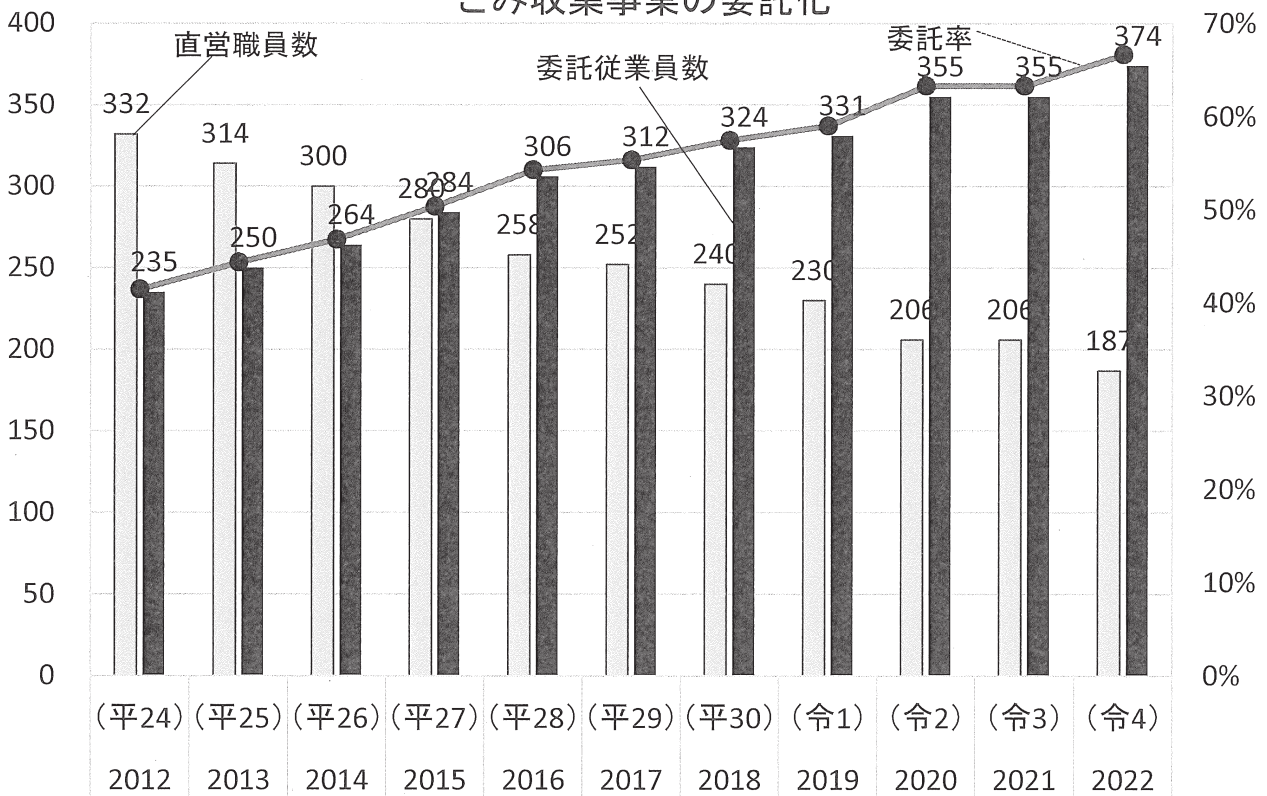
ごみ収集事業の民間委託状況

同事業の委託率が高くなると、災害時のごみ処理などに影響が及びます。
京都市は、委託目標70%を掲げています。

■ごみ収集に携わる市の直営職員及び委託従業員数、委託率

年度	直営職員		直営職員計	委託従業員		委託人数計	民間委託率
	直営車	庸車		庸車	委託車		
2012 (平24)	186	146	332	73	162	235	41%
2013 (平25)	180	134	314	67	183	250	44%
2014 (平26)	180	120	300	60	204	264	47%
2015 (平27)	180	100	280	50	234	284	50%
2016 (平28)	180	78	258	39	267	306	54%
2017 (平29)	180	72	252	36	276	312	55%
2018 (平30)	180	60	240	30	294	324	57%
2019 (令1)	180	50	230	25	306	331	59%
2020 (令2)	180	26	206	13	342	355	63%
2021 (令3)	180	26	206	13	342	355	63%
2022 (令4)	177	10	187	5	369	374	67%

ごみ収集事業の委託化



■技能労務職員の定年退職者数と今後の同職員数の見込（環境政策局内）

年度	2021年 R3	2022年 R4	2023年 R5	2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9
職員数	417	397	375	360	338	315	302
定年退職者数	20	22	15	22	23	13	—

※特例退職、年度途中退職や昇任は見込んでいない。

単位：人

※定年延長は考慮していない。作業長以上の職員は除く。

環境政策局の資料より作成

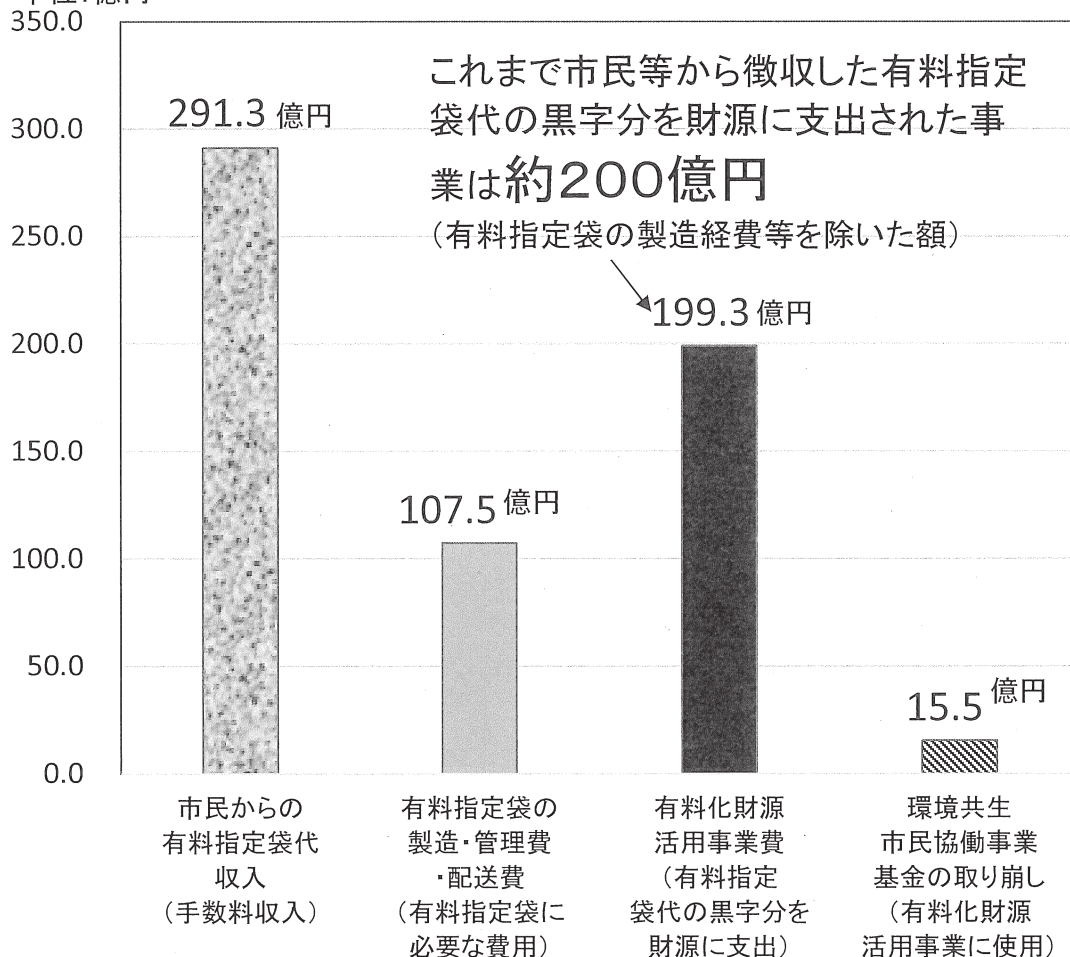
ごみ有料指定袋代の収入による「有料化財源」活用事業費(決算額)

環境政策局の資料より作成

単位: 億円

	市民からの 有料指定袋代 収入 (手数料収入)	有料指定袋の 製造・管理費 ・配送費 (有料指定袋に 必要な費用)	有料化財源 活用事業費 (有料指定袋代の 黒字分を財源に支 出)	環境共生 市民協働事業 基金の取り崩し (有料化財源 活用事業に使用)
2006年度 (H18)	10.8	5.7	5.1	0.0
2007年度 (H19)	21.7	11.7	10.0	0.0
2008年度 (H20)	19.2	9.7	9.5	0.0
2009年度 (H21)	18.7	7.3	11.4	0.0
2010年度 (H22)	19.1	5.6	13.5	0.0
2011年度 (H23)	19.2	5.5	13.7	0.0
2012年度 (H24)	18.9	5.4	13.5	0.0
2013年度 (H25)	19.2	5.4	13.8	0.0
2014年度 (H26)	18.3	7.0	12.1	0.8
2015年度 (H27)	17.8	6.9	12.9	2.0
2016年度 (H28)	17.7	6.9	13.7	2.8
2017年度 (H29)	18.0	5.6	14.3	1.9
2018年度 (H30)	18.1	6.4	15.8	4.1
2019年度 (R1)	18.2	6.9	11.1	-0.2
2020年度 (R2)	18.1	5.3	15.6	2.9
2021年度 (R3)	18.3	6.2	13.3	1.3
合計	291.3	107.5	199.3	15.5

単位: 億円



有料指定袋代の収入による事業(「有料化財源」活用事業)の内容(2021年度決算)

(有料化財源とは、市民の有料指定袋の購入費から、有料指定袋の製造・管理・配送費を引いた残りの額) 単位:円

2021(R3)年度の同事業全体の決算合計		13億3139万
項目	主な事業内容等	決算額
環境政策局の事業		11億6014万
2Rと分別・リサイクルの促進	プラスチック製品の分別回収に向けた社会実験 使い捨てプラスチック削減推進事業 食品ロス削減等推進事業、紙ごみ削減推進事業 イベント等のエコ化の推進など	7887万
環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	市民の更なるごみ減量や分別・リサイクル意識の高揚を図るため、ごみ処理施設・再資源化施設見学会を実施	149万
ごみ減量活動の推進	生ごみ減量推進事業 生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 コミュニティ回収等の集団回収事業 市民・事業者とのパートナーシップによるごみ減量活動の推進 使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	1億1712万
資源物の分別・リサイクルの推進	資源物の拠点回収の推進 移動式拠点回収事業 資源物の持ち去り禁止等啓発パトロール	1億0051万
空き缶、空きびん、ペットボトルのリサイクルの推進	資源リサイクルセンターで缶・びん・ペットボトルの選別・異物除去・圧縮の処理を実施 施設運営費及び保守管理経費として活用	1億0182万
プラスチック製容器包装のリサイクルの推進	圧縮梱包施設でプラスチック製容器包装の異物除去・圧縮梱包の処理を実施 施設運営費として活用	3億0254万
「世界一美しいまち・京都」の推進	市民ボランティア団体等による清掃活動への支援 家庭ごみの防鳥用ネットの貸出事業	1273万
地球温暖化対策条例の推進	今後の中長期的な事業の検討委託費	493万
再エネの普及拡大と省エネの推進	2050年CO2ゼロをめざす再エネ最大化アクション 2050年CO2ゼロをめざす市民省エネ行動促進事業	1億0377万
市民による地球温暖化対策の推進	「エコ学区」ステップアップ事業 「DO YOU KYOTO?」推進事業～環境にやさしいライフスタイルへの転換～など	3963万
水素・電気自動車等の次世代自動車普及促進事業	電気自動車等用の充電設備メンテナンス費用	113万
南部クリーンセンター環境学習施設の運営	環境学習施設「さすてな京都」の運営	7130万
東北部クリーンセンター大規模改修工事	東北部クリーンセンター大規模改修工事の一部に活用	2億2430万
環境政策局以外の事業		1億0124万
産業観光局	森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～	6218万
都市計画局	既存住宅の省エネリフォーム支援事業	2017万
文化市民局	区役所・支所等LED化推進事業	1890万
ファンドへの積立		7000万
京都市民環境ファンドへの積立	最先端技術を活かした再生可能エネルギー分野などへの中長期的な活用に向けた計画的な積立	7000万

※千円の位を四捨五入して算出。

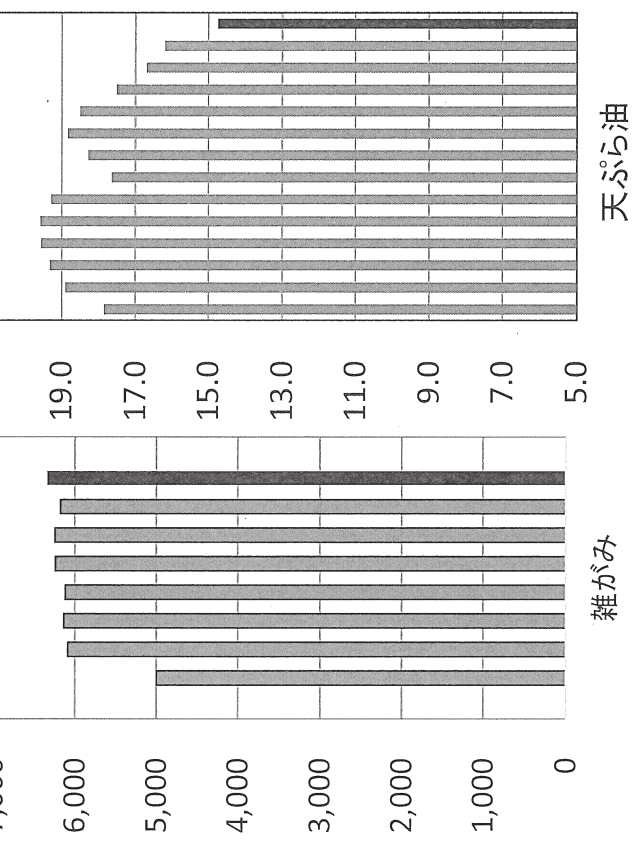
環境政策局資料から作成

資源ごみ等の回収拠点数と回収量の推移

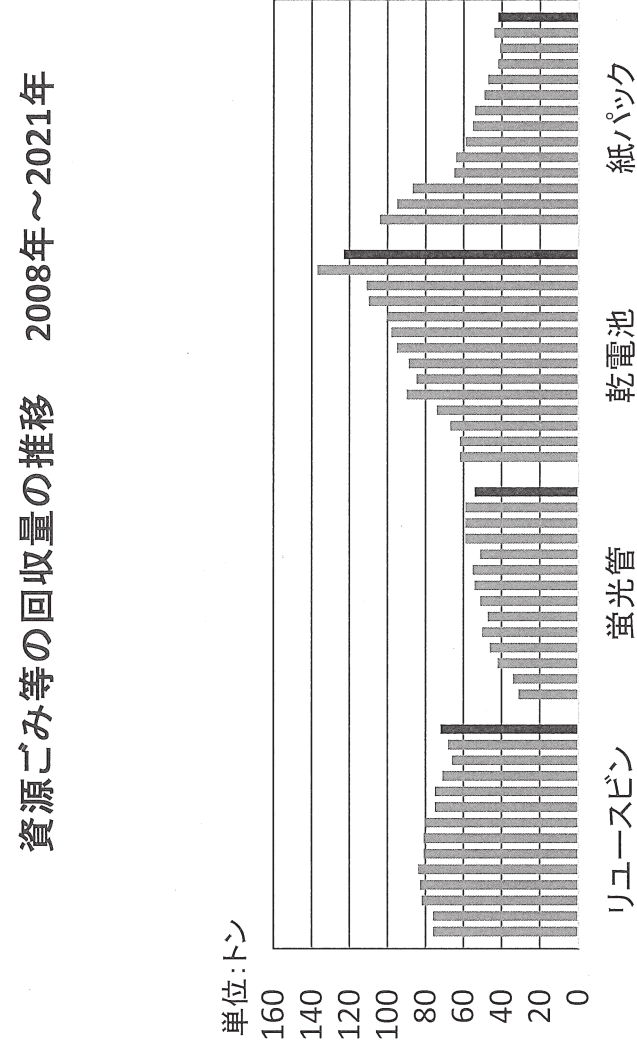
環境政策局資料より作成

年度	2008 (H20)		2009 (H21)		2010 (H22)		2011 (H23)		2012 (H24)		2013 (H25)		2014 (H26)		2015 (H27)		2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)		2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)	
	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)	拠点数	回収量(トン)
リユースビン	79	76	104	76	127	82	146	83	151	84	151	81	157	81	162	80	164	75	163	71	162	157	66	157	68	155	72	
蛍光管	251	276	276	276	294	294	99	229	102	102	104	104	112	112	124	128	130	130	130	130	130	130	130	130	131	130	130	
乾電池	31	34	34	34	42	42	46	46	50	50	47	47	51	51	54	55	55	51	51	59	59	59	59	59	59	59	54	
紙パック	83	107	107	107	131	131	234	234	330	330	331	331	336	336	347	352	351	351	351	348	348	346	346	350	350	344	344	
雑がみ	62	62	62	62	67	67	74	74	90	90	85	85	89	89	95	98	100	100	100	110	110	111	111	137	137	123	123	
リユースビン	288	289	289	289	294	294	315	315	319	319	317	317	320	320	332	331	327	327	327	325	325	320	320	323	323	315	315	
雑がみ	104	95	95	95	87	87	65	65	64	64	59	59	55	55	54	49	47	47	42	42	42	41	44	44	42	42	42	
大から油(使用済み)	1,352	1,447	1,447	1,447	1,577	1,577	1,647	1,647	1,686	1,686	1,759	1,759	1,806	1,806	1,871	1,895	1,811	1,811	1,776	1,776	1,776	1,694	1,694	1,628	1,628	1,748	1,748	
リユースビン	178,528	189,006	189,006	189,006	193,172	193,172	195,515	195,515	195,822	195,822	192,842	192,842	176,412	176,412	182,770	188,289	184,989	184,989	175,135	175,135	175,135	166,970	166,970	161,800	161,800	147,458	147,458	

単位:トン
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0



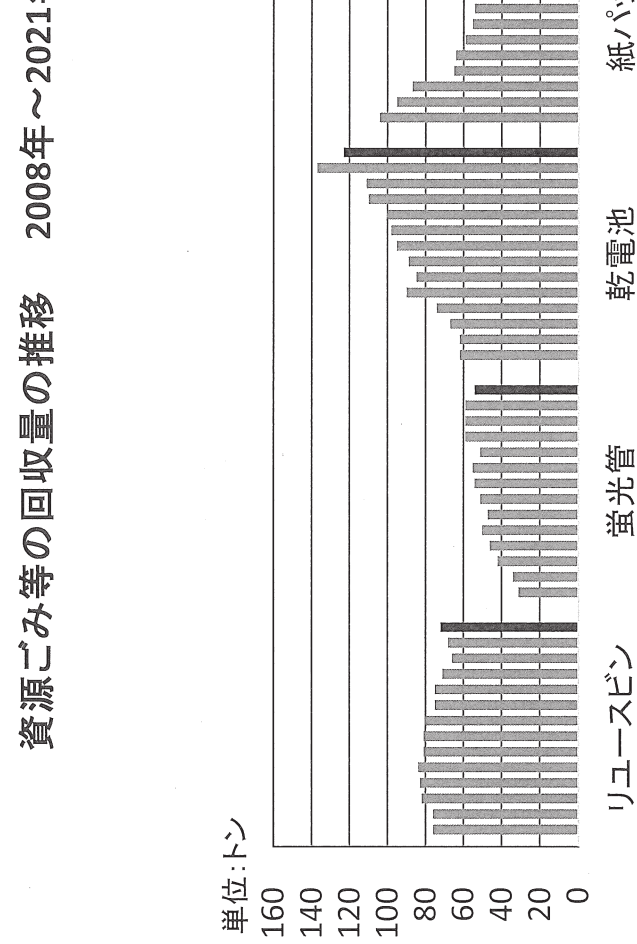
単位:L
21.0
19.0
17.0
15.0
13.0
11.0
9.0
7.0
5.0



資源ごみ等の回収量の推移 2008年～2021年

資源ごみ	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
リユースビン	79	104	127	146	151	151	157	162	164	163	162	157	157	155
蛍光管	251	276	294	99	102	104	112	124	128	130	130	130	131	130
乾電池	31	34	42	46	50	47	51	54	55	51	59	59	59	54
紙パック	83	107	131	234	330	331	336	347	352	351	348	346	350	344
雑がみ	62	62	67	74	90	85	89	95	98	100	110	111	137	123
リユースビン	288	289	294	315	319	317	320	332	331	327	325	320	323	315
雑がみ	104	95	87	65	64	59	55	54	49	47	42	41	44	42
大から油(使用済み)	1,352	1,447	1,577	1,647	1,686	1,759	1,806	1,871	1,895	1,811	1,776	1,694	1,628	1,748
リユースビン	178,528	189,006	193,172	195,515	195,822	192,842	176,412	182,770	188,289	184,989	175,135	166,970	161,800	147,458

単位:トン
160
140
120
100
80
60
40
20
0



東部山間埋立地「エコランド音羽の杜」の搬入状況

環境政策局資料より作成

年度	焼却残灰(トン)	不燃ごみ(トン)	計(トン)	残容量(万m ³)
2000年 (H12)	8.5	3.7	12.2	
2001年 (H13)	10.5	3.4	14.0	
2002年 (H14)	9.5	2.2	11.7	
2003年 (H15)	9.4	2.3	11.7	
2004年 (H16)	9.3	2.6	11.9	
2005年 (H17)	8.5	2.4	10.9	
2006年 (H18)	8.0	2.0	10.0	
2007年 (H19)	6.9	2.0	8.9	
2008年 (H20)	6.6	1.6	8.2	
2009年 (H21)	6.3	0.8	7.0	
2010年 (H22)	5.5	0.2	5.6	
2011年 (H23)	4.3	0.2	4.5	
2012年 (H24)	4.8	0.2	5.0	240
2013年 (H25)	5.1	0.3	5.4	
2014年 (H26)	4.8	0.3	5.1	
2015年 (H27)	4.5	0.2	4.7	
2016年 (H28)	4.3	0.2	4.5	
2017年 (H29)	3.9	0.2	4.1	
2018年 (H30)	4.0	0.3	4.3	
2019年 (R1)	3.7	0.2	3.9	
2020年 (R2)	2.8	0.2	3.0	216
2021年 (R3)	1.7	0.1	1.8	215
合計	133	25	158	-

同施設の整備費は約523億円。2000年4月から埋立開始。

2010年度10月から産廃の受入れ廃止。

残余年数は、年間5.1万トンとして約50年。

大阪湾処分場への搬入は、2021年3.1万トン。残容量は23万m³。

16.0

